

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|--------|------|-----|
| 107-88 | 高等学校 | 地理歴史科 | 地理探究 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 46 帝国 | 地探 046-901 | 新詳地理探究 | | |

1. 編修の趣旨及び留意点

グローバル化や情報化、少子高齢化、多発する自然災害などの地球的課題に直面する現代世界の姿を、「地理的な見方・考え方」を働かせて多面的・多角的に考察することで、平和で民主的な国家および社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指して編修した。特に、「地理的な見方・考え方」を働かせたり、地理的技能を習得・活用したりすることができるよう、多様な視覚資料を豊富に掲載した。また、現代世界が抱える地球的課題を考察したり、日本の国土像を探究したりする学習を通して、主体的に取り組む態度が育成できるよう留意した。

2. 編修の基本方針

◇教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、以下の基本方針に基づいて編修した。

(1) 幅広い知識が習得でき、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

- ・ 3部で将来の日本の国土像を探究・構想できるよう、1部と2部では最新の世界情勢や学術動向を詳細に記述し、現代世界の地理的事象や諸地域をより深く理解できるようにした。その際、具体例を挙げながら背景や因果関係まで記述することで、生徒が理解しやすいよう配慮した。
- ・ 地球的課題だけでなく、世界の各地域が抱える課題、日本が取り組むべき課題などを詳しく紹介し、それぞれの課題に正対して考えられるようにした。また、全編を通して日本の事例を豊富に取り上げ、日本と世界各地の地理的事象を比較・対照させることで、現代世界が抱える地球的課題への理解をより深められるようにした。
- ・ 写真やグラフ、模式図などの視覚資料を数多く掲載し、さまざまな資料を活用しながら多面的・多角的に学習内容の理解を深められるよう配慮した。
- ・ 資料読解や国土像探究に向けた活動を通して、主体的・対話的な学びができる特設ページ「探究力 UP」を適宜設けた。
- ・ 持続可能な社会づくりの取り組みを紹介したコラム「持続可能な社会に向けて」や、具体的な地域事例を紹介したコラム「地域を見る目」、学習内容を掘り下げるコラム「深める」を各所に設け、地理的事象やその背景を理解できるようにした。

(2) 主体的に社会の形成に参画する態度を養い、個人の資質・能力を高める教科書

- ・ 「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習できるよう、学習を見通す「節の主題」や「学習課題」、学習内容を振り返る「節の振り返り」や「確認・説明」、学習を深める「探究」のコーナーを随所に設けた。
- ・ 地理的な特徴をとらえる力を養うことができるよう、写真や図には「読み解き」を随所に設けた。
- ・ 最新の研究動向などを踏まえて論述を行う特設ページ「地理の最前線」を適宜設けた。
- ・ 地理学習を深めるために必要となる技能を身につけられるよう、特設ページ「SKILL」を適宜設けた。
- ・ 地図の活用を通して、学習内容を確認したり、深めたりできるよう、「地図帳活用」のコーナーを随所に設けた。

| 3. 対照表 | | |
|--|---|--|
| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
| 1部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 序説 地球環境と人間 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 | <p>○世界の自然環境の基礎となる地形や気候について詳細な記述を心がけ、模式図や写真を豊富に掲載することで、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した（第1号）。</p> <p>○地形や気候の成り立ちに加えて、人間生活との関わりについて丁寧に記述することで、自然を大切に、環境を保全する態度を養えるよう配慮した。その際、自然の恵みと自然の驚異の両面を理解できるよう配慮した（第4号）。</p> <p>○自然環境との関わりが深い環境問題について、原因や分布の解説にとどまらず、解決への取り組みまで丁寧に扱うことで、環境保全に向けて協力し、かつ、主体的に参画していくことの重要性を理解できるよう配慮した（第3号、第4号）。</p> | <p>p.6-67</p> <p>p.6-67</p> <p>p.70-81</p> |
| 2章 資源と産業 序説 産業構造の変化 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 鉱産資源とエネルギー 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業 6節 第3次産業 | <p>○生産や貿易などの分布図を豊富に掲載し、先進国と発展途上国を対比させるなど、地域的差異をとらえられるようにすることで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した（第1号）。</p> <p>○第1次産業、第2次産業、第3次産業に分類される各種産業を取り上げ、さまざまな技術を活用しながら産業が発展したり、生活が向上したりしている様子を丁寧に記述することで、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○食料や資源をめぐる問題など、現代世界が抱える地球的課題について取り上げ、持続可能な社会を形成するために主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第3号、第5号）。</p> | <p>p.82-99、 104-113、 122-145</p> <p>p.82-99、 122-145</p> <p>p.100-103、 114-121</p> |
| 3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 | <p>○最新の情勢や具体例を通して、国家間の結びつきや地域的な枠組みの理解を深めながら、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した（第1号）。</p> <p>○交通・通信や観光など、グローバル化が進む世界の様子を地図や写真などで示し、それらを読み取ることを通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p> | <p>p.160-165</p> <p>p.146-159</p> |
| 4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 | <p>○人口問題、都市・居住問題などの現代世界が抱える課題について取り上げ、持続可能な社会を形成するために主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第3号、第5号）。</p> | <p>p.166-197</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>5章 生活文化、民族・宗教</p> <p>1節 衣食住</p> <p>2節 民族・宗教と民族問題</p> <p>3節 国家の領域と領土問題</p> | <p>○世界や日本における具体的な事例を通して、民族・領土問題の背景には、資源や宗教、政治・経済などの要因があることを理解することで、幅広い知識と教養を身につけるとともに、国際平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第1号、第5号）。</p> <p>○日本の領土について図や写真を用いて丁寧に解説することで、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p> | <p>p.198-220</p> <p>p.216-219</p> |
| <p>2部 現代世界の地誌的考察</p> <p>1章 現代世界の地域区分</p> <p>1節 地域区分</p> | <p>○現代世界が、さまざまな指標によって地域区分できることに気づき、地域の概念や地域区分の意義を理解することで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した（第1号）。</p> | <p>p.222-225</p> |
| <p>2章 現代世界の諸地域</p> <p>序説 地域の考察方法</p> <p>1節 中国</p> <p>2節 韓国</p> <p>3節 ASEAN 諸国</p> <p>4節 インド</p> <p>5節 西アジアと中央アジア</p> <p>6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ</p> <p>7節 EU 諸国</p> <p>8節 ロシア</p> <p>9節 アメリカ合衆国</p> <p>10節 ラテンアメリカ</p> <p>11節 オーストラリアとニュージーランド</p> | <p>○世界の諸地域について、11の国・地域をバランスよく取り上げることで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した。また、各国・地域の地形や気候などの自然環境や、産業や宗教、民族、言語などの社会環境といった地理的環境から考察するために必要なさまざまな視点を身につけることで、個人の能力を伸ばし、創造性をつちかえるよう配慮した（第1号、第2号）。</p> <p>○各国・地域におけるそれぞれの課題を意識的に取り上げ、それらを考察することで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第5号）。</p> <p>○取り上げた11の国・地域すべてで、冒頭に自然環境の特徴に関する資料を配置し、丁寧に解説することで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した（第4号）。また、同じく冒頭には「日本との関わり」に関する資料を掲載することで、日本と各国・地域とがたがいに協力することが国際社会の平和と発展につながることを意識できるようにした（第5号）。</p> | <p>p.226-320</p> <p>p.226-320</p> <p>p.228-229、238-239、244-245、254-255、262-263、270-271、278-279、290-291、296-297、306-307、314-315</p> |
| <p>3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像</p> <p>1章 持続可能な国土像の探究</p> <p>1節 将来の国土のあり方</p> <p>2節 持続可能な日本の国土像の探究</p> | <p>○これまでの学習を踏まえて、日本の特色と持続可能な社会を実現するための課題を振り返り、将来の国土のあり方について生徒自身が主体的に考えられるようにした。また、まとめた意見については、積極的に国や自治体に提言することを本文や掲載資料で促した。これにより、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○具体的なレポートとともに構成し、生徒自身が課題を発見し、真理を求める態度を養えるよう配慮した（第1号）。</p> | <p>p.322-335</p> <p>p.326-335</p> |

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 「個別最適な学び」に対応できる教科書

- ①教科書全体を通して QR コンテンツを充実させ、学習内容の理解を助けたり、深めたりすることができるようにした。
- ②身近な事象や興味・関心がある事象を豊富に取り上げ、学習内容を自分事としてとらえられるようにした。

(2) すべての生徒に読みやすい教科書

- ①色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮した。
- ②本文や側注、キャプションなどの文字は、はっきりと判読できるユニバーサルデザインフォント(UD フォント)を使用した。

(3) 環境に優しい素材と堅牢な造本

- ①造本においては、環境に配慮し、かつ鮮明に発色し裏写りがしない用紙を使用した。
- ②インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキを使用した。
- ③使用期間中に破損することがないように、堅牢なつくりにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|--------|------|-----|
| 107-88 | 高等学校 | 地理歴史科 | 地理探究 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 46 帝国 | 地探 046-901 | 新詳地理探究 | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◇グローバル化する現代世界の姿をとらえううえで、主体的に社会の形成に参画し、平和で民主的な国家および社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう、以下の点に配慮した。

1. 現代世界の地理的事象や学術動向の新しい動きをつかめる教科書

- ・本文は、全編にわたって最新の世界情勢や学術動向を積極的に記述するとともに、地理的事象の因果関係が理解できるようにした。また、世界の各地に暮らす人々の姿がみえる写真・記述となるよう心がけた。
- ・最新の研究動向などを踏まえて論述を行う特設ページ「**地理の最前線**」を適宜設けた。
- ・持続可能な社会づくりの取り組みを紹介したコラム「**持続可能な社会に向けて**」や、具体的な地域事例を紹介したコラム「**地域を見る目**」、学習内容を深掘りするコラム「**深める**」を各所に設け、地理的事象やその背景を理解できるようにした。
- ・全編を通して日本の事例を豊富に取り上げ、日本と世界各地の地理的事象を比較・対照させることで、現代世界が抱える地球的課題への理解をより深められるようにした。

2. 主体的で探究的な学習活動を通して、持続可能な社会づくりに参画する態度を養う教科書

- ・3部では、将来の日本の国土像などを多面的・多角的に探究するにあたって、具体的な探究事例を複数掲載するとともに、調査方法を丁寧に解説した。
- ・資料読解や国土像探究に向けた活動を通して、主体的・対話的な学びができる特設ページ「**探究力 UP**」を適宜設けた。

3. 「地理的な見方・考え方」を働かせながら思考力・判断力・表現力を養える教科書

- ・全編を通して、「人間と自然の関わり」や「他地域との結びつき」などの「地理的な見方・考え方」を働かせながら、見通しを立てた学習ができるよう、各節の冒頭には「**節の主題**」を、各項（見開き）の冒頭には「**学習課題**」のコーナーを設けた。
- ・「地理的な見方・考え方」を働かせながら、学習内容をまとめたり、説明したりするなど、振り返りの活動を随所で行えるよう、各節末には「**節の振り返り**」を、各項（見開き）末には「**確認・説明**」のコーナーを設けた。また、探究的な学習活動ができるよう、「**探究**」のコーナーを適宜設けた。
- ・地理的な特徴をとらえる力を養うことができるよう、写真や図表には「**読み解き**」を設けた。
- ・地図の活用を通して、学習内容を確認したり、深めたりできるよう、各項（見開き）の右下に「**地図帳活用**」を随所に設けた。また、ウェブサイトを使った調べ学習を促す「**Web活用**」のコーナーを適宜設けた。

4. 実社会で役立つ地理的技能を習得できる教科書

- ・さまざまな地理的技能を身につけられるよう、特設ページ「**SKILL**」を適宜設けた。特に、地形図や統計地図、グラフの読図や作図などの活動を充実させた。

5. 現代世界の地理的認識を深められる教科書

- ・地理的認識を深められるよう、全編を通して、本文は因果関係を丁寧に解説し、平易な記述を心がけるとともに、本文を補完する「**用語解説**」を随所に設けた。また、自然現象のしくみなどを解説した動画やアニメーション、試験の演習問題などをQRコンテンツとして用意した。
- ・地理総合の学習内容との関連を示す「**地理総合の振り返り**」を各項（見開き）の左下に設けた。これまでに学習してきた事項・内容を踏まえて、地理探究の学習に取り組めるようにした。

| 2. 対照表 | | | |
|------------------------|-----------|-----------|------|
| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
| 1部 現代世界の系統地理的考察 | | | |
| 1章 自然環境 | A (1) | | |
| 序説 地球環境と人間 | | p.6-7 | 1 |
| 1節 地形 | | p.8-31 | 5 |
| 2節 気候 | | p.32-61 | 6 |
| 3節 日本の自然環境 | | p.62-69 | 2 |
| 4節 地球環境問題 | | p.70-81 | 3 |
| 2章 資源と産業 | A (2) | | |
| 序説 産業構造の変化 | | p.82-83 | 1 |
| 1節 農林水産業 | | p.84-99 | 5 |
| 2節 食料問題 | | p.100-103 | 1 |
| 3節 鉱産資源とエネルギー | | p.104-113 | 4 |
| 4節 資源・エネルギー問題 | | p.114-121 | 3 |
| 5節 工業 | | p.122-139 | 6 |
| 6節 第3次産業 | | p.140-145 | 2 |
| 3章 交通・通信と観光、貿易 | A (3) | | |
| 1節 交通・通信 | | p.146-153 | 2 |
| 2節 観光 | | p.154-159 | 2 |
| 3節 貿易と経済圏 | | p.160-165 | 3 |
| 4章 人口、村落・都市 | A (4) | | |
| 1節 人口 | | p.166-169 | 2 |
| 2節 人口問題 | | p.170-177 | 2 |
| 3節 村落と都市 | | p.178-187 | 3 |
| 4節 都市・居住問題 | | p.188-197 | 2 |
| 5章 生活文化、民族・宗教 | A (5) | | |
| 1節 衣食住 | | p.198-201 | 1 |
| 2節 民族・宗教と民族問題 | | p.202-211 | 3 |
| 3節 国家の領域と領土問題 | | p.212-220 | 3 |
| 2部 現代世界の地誌的考察 | | | |
| 1章 現代世界の地域区分 | B (1) | | |
| 1節 地域区分 | | p.222-225 | 1 |
| 2章 現代世界の諸地域 | B (2) | | |
| 序説 地域の考察方法 | | p.226-227 | 1 |
| 1節 中国 | | p.228-237 | 4 |
| 2節 韓国 | | p.238-243 | 2 |
| 3節 ASEAN 諸国 | | p.244-253 | 4 |
| 4節 インド | | p.254-261 | 3 |
| 5節 西アジアと中央アジア | | p.262-269 | 3 |
| 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ | | p.270-277 | 3 |
| 7節 EU 諸国 | | p.278-289 | 4 |
| 8節 ロシア | | p.290-295 | 2 |
| 9節 アメリカ合衆国 | | p.296-305 | 4 |
| 10節 ラテンアメリカ | | p.306-313 | 3 |
| 11節 オーストラリアとニュージーランド | | p.314-320 | 3 |

| | | | |
|-------------------------------|-------|-----------|----------|
| 3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 | | | |
| 1章 持続可能な国土像の探究 | C (1) | | |
| 1節 将来の国土のあり方 | | p.322-325 | 1 |
| 2節 持続可能な日本の国土像の探究 | | p.326-335 | 5 |
| | | | 計 105 時間 |